

## 第5次川本町総合計画 基本構想フレームの考え方

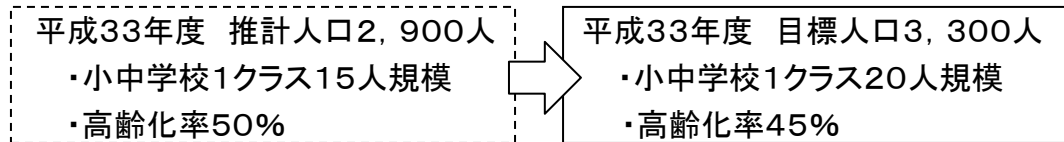
### 1. 基本的な考え方

- ・将来像 — 四本柱 — 施策大綱 — 個別施策と連動させ、総合計画の全てが同じ方向へ向かうトータルシステムを構築する。
- ・10年後目標人口、年間目標、分野別個別目標を指標や数値で定め、定期的に目標管理を行えるものとする。

### 2. 目指すべき将来像

- ・「みんながいつまでも安心して住み続けられる魅力あるまち」をコンセプト
- ・キャッチコピーは、現時点ではあくまでも仮称
- ・将来像の達成状況を数値的に評価する指標として将来目標人口を設定

### 3. 目標人口の設定



- ・目標人口数値だけでなく、子ども、高齢者等のバランスも視野に入れる。  
⇒効果の高い教育環境を考慮し、1クラス20名を維持  
⇒高齢者の安心生活、地域経済活性化を考慮し、高齢化率45%を維持
- ・キープ4000プロジェクトの2年間の定住成果を今後10カ年継続した場合の推計値を参考に試算 ※H21年度33名、H22年度33名

### 4. 実現のための四本柱（重点施策）

- ・将来像と目標人口を達成するために必要な重点項目を定める。
- ・目標バランス達成のため、若年層、子育て世代の定住を強化
  - ①医療福祉の充実
  - ②雇用の場の確保
  - ③居住空間の整備
  - ④子ども教育の充実

### 5. 実現のために必要な施策（個別施策）

- ・目標達成のために必要な施策を「タテ」に6分類したもの。
- ・将来像、目標人口を達成するために必要な分野毎の重点項目を抽出し、目標数値を記載。

### 6. 五つの視点

- ・全ての分野の施策を実施する際に必要な”共通の視点”を「ヨコ」に整理